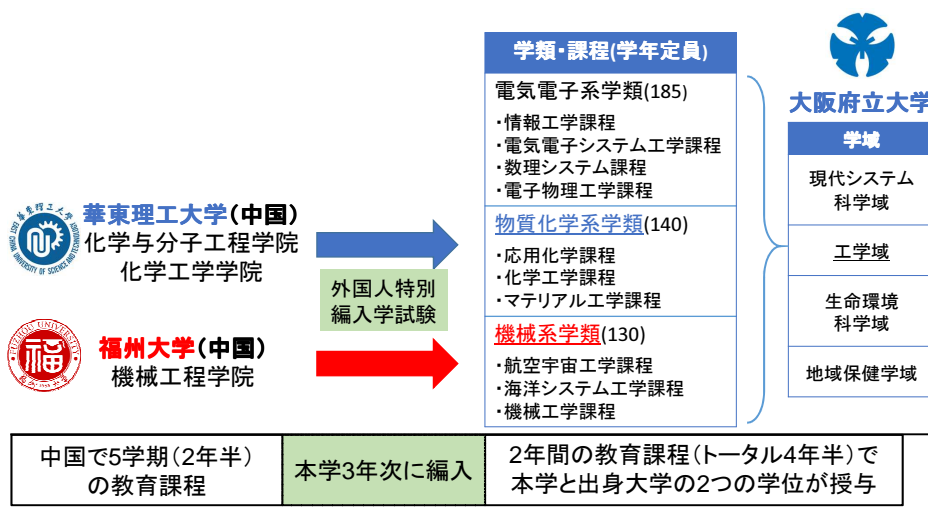


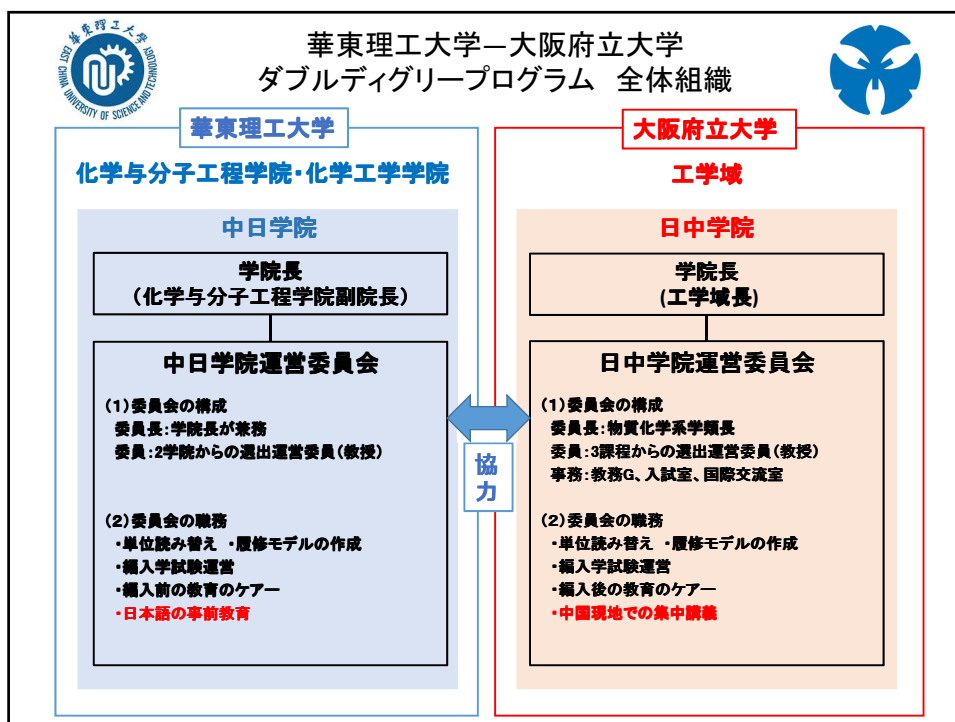
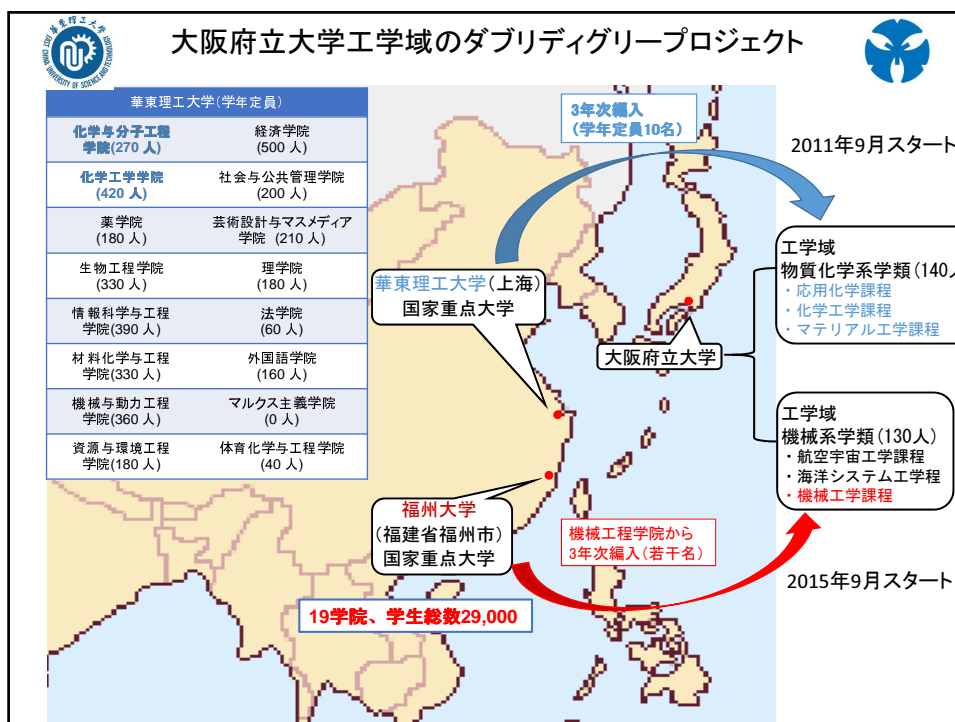
大阪府立大学工学域における 学士課程のダブルディグリー・プログラム

大阪府立大学大学院工学研究科
松岡雅也

学士課程のダブルディグリー（DD）・プログラム

連携する2大学により準備された学士カリキュラムを修了し、
各大学の卒業要件を満たすと、両大学から同時に
それぞれの学士の学位を取得できるプログラム





日本語の事前教育・集中講義

華東理工大学・中日学院

日本語の事前教育

来日までに日本語能力試験N2を取得

- ・新聞、雑誌の記事、論旨が明快な文章を理解できる。
- ・通常の会話や講義を聞き、論理構成と要旨を把握できる。

学外の日本語教師を斡旋し、
2.5年間の日本語教育を実施

授業時間：
月曜日：18:00-21:20
水曜日：18:00-21:20
金曜日：13:30-17:00
合計：9時間/週

自習：10時間/週

・来日後すぐに日本語で提供される
専門科目・実験科目を履修

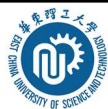
・カリキュラム上手薄になる講義科目
が存在

大阪府立大学・日中学院

中国現地での集中講義（日本語）

- ・手薄になる講義科目の補強
- ・化学系専門用語の修得
水素：氢(ching)、アセトン：丙酮(bingtong)
- ・日本語のレベルアップ
- ・日本人教員との交流

3名の教員が1-3回生を対象に
年一度15コマの集中講義を行う
1回生：材料工学基礎
2回生：量子化学基礎
3回生：移動速度論など



入学から卒業までのダブルディグリー・プログラムスキーム



| | | 中国 | | | | | 日本 | | |
|--------------|------------------|------------------------|----------------------------------|--|--|----------|--|------------------------|--------------------------|
| | | 入試前 ～ 入学後 一か月 | 1年次 9月～翌年7月 | 2年次 9月～翌年7月 | 5学期 9月～ 翌年3月 | 受入 上履 | 3年次 4月～翌年3月 | 4年次 4月～翌年3月 | 卒業 |
| 大阪府立 大学 | 工学部 | 応用化学科 | 中日 学院 | ①中国の教養科目、専門科目の履修 ②現地での府立大学教員による 専門科目集中講義 ③日本語学習 | 外特 種入 学 試験 (日本語) 7月 現地実施 | 10 名 | ①中国の取得単位を日本の単位に 読み替え ②日本の専門科目の履修 ③日本での卒業単位に不足している 1、2年次の必修単位の取得 ④大学院進学の場合は出願時に 資格審査(入試：6月) | 日本の取得単位を 中国の単位に読み替え | 中国の 学位を 授与 (7月) |
| | | 化学工学科 | | | | | | | |
| マテリアル 工学科 | | | | | | | | | |
| 華東理工 大学 | 化学与 分子工 学院 | 応用化学 | WEB等 による 広報で 学院生 を募集 | ①中国の教養科目、専門科目の履修 ②現地での府立大学教員による 専門科目集中講義 ③日本語学習 | 外特 種入 学 試験 (日本語) 7月 現地実施 | 10 名 | ①中国の取得単位を日本の単位に 読み替え ②日本の専門科目の履修 ③日本での卒業単位に不足している 1、2年次の必修単位の取得 ④大学院進学の場合は出願時に 資格審査(入試：6月) | 日本の取得単位を 中国の単位に読み替え | 中国の 学位を 授与 (7月) |
| | | 材料科学 | | | | | | | |
| 化学工学 学院 | 化学工学 | | | | | | | | |

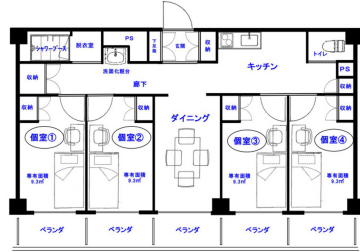
* 華東理工大の通常授業料6,000元(約90,000円)/年×4年

* 大阪府立大学の入学金382,000円、授業料535,800円/年

国際交流課によるケア

留学生チューター制度・・・本学に在学する外国人留学生を対象に、本学が委嘱したチューターが、留学生の学習・研究・生活などについて個別に助言支援をする制度。対象期間は入学後最初の6ヶ月。必要に応じて1年まで延長可。

国際交流会館 I-wing・・・留学生がキャンパス生活に早くなれるようにキャンパス内に留学生用宿舎を設置(2015年4月オープン)。日本人学生との共同生活で、日本語の習得や日本文化に触れる機会を多く提供。入居期間は1年間。家賃は月額37,800円

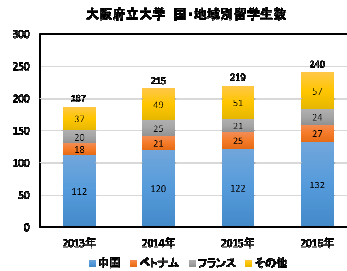


毎週の在籍確認制度・・・交換留学生およびダブルディグリー学生には、毎週、学生課での在籍確認を行い、学習状況や健康状態をチェック。

DDプログラム実施に至る経緯

中期目標(2011-2017):留学生受け入れ300人

- 従来の交換留学から一歩進んだ制度を構築し、アジアから優秀な学生を継続的に確保したい
- ・共同学位制度設置の機運が高まる
- 華東理工大学を相手側大学として選定
 - ・交流期間が長い
 - ・本学への留学経験のある教授(現中日学院院長)が在籍
 - ・カリキュラムや教育水準を相互把握できている
- 華東理工大学 中独工学院 (2003年教育部設置認可、学年定員90名)
 - ・学士DD制度に特化(中国2.5年、ドイツ1.5年)
 - ・ベルリン工科大学、アーヘン工科大学など20校とDD制度を実施
 - ・授業料:37万円/年(通常授業料:9万円/年)
- 同様の授業料制度を導入



| | 共同学位制度 | 従来の交換留学制度 |
|----------|--|--------------------------------|
| 留学生の受入要件 | ・DD締結校から外特編入試験を通して受入れ ・日本語能力試験N2以上 | ・学術交流協定校からの受入れ ・日本語能力試験N3以上 |
| 制度の趣旨 | ・優秀な留学生の組織的・継続的な確保 ・日本企業への国際人材の供給 ・国際人脈の形成 | 新興国向けの人材育成など国際貢献 |
| 留学時の授業料 | 有料(日本人学生より低学費) | 日本の大学では授業料を徴収しない |
| 学位 | 日本と中国の2つの大学から学位授与 | 日本の大学の学位は取得できない |

ダブルディグリープログラム入学者数

物質化学系学類への入学人数

(応用化学課程、化学工学課程、マテリアル工学課程)

| | 入学 (9月) | 末日 (4月) | 卒業 (3月) |
|-----|------------|------------|------------|
| 第一期 | 2011 | 2014 | 2016 |
| | 10 | 8 | 8 |
| 第二期 | 2012 | 2015 | |
| | 3 | 2 | |
| 第三期 | 2013 | 2016 | |
| | 6 | 5 | |
| 第四期 | 2014 | | |
| | 2 | | |
| 第五期 | 2015 | | |
| | 4 | | |
| 平均 | 5人 | | |



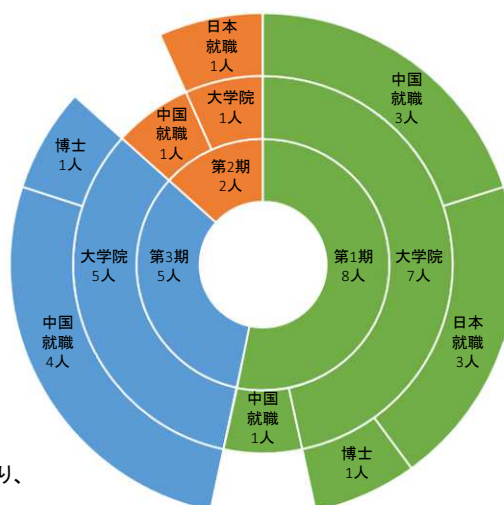
大阪府立大学での日中学院生 辻 学長室にて

DD学生の卒業後の進路

物質化学系学類への
入学人数

| | 入学 (9月) | 末日 (4月) | 卒業 (3月) | 外国人 特別選抜 入学(4月) |
|-----|------------|------------|------------|-----------------------|
| 第一期 | 2011 | 2014 | 2016 | 2012 |
| | 10 | 8 | 8 | 1 |
| 第二期 | 2012 | 2015 | | 2013 |
| | 3 | 2 | | 1 |
| 第三期 | 2013 | 2016 | | 2014 |
| | 6 | 5 | | 2 |
| 第四期 | 2014 | | | 2015 |
| | 2 | | | 3 |
| 第五期 | 2015 | | | 2016 |
| | 4 | | | 1 |
| 平均 | 5人 | | | 1.6人 |

卒業後の進路



大学院進学後、日本・中国での就職を希望
 → 企業へのDD制度の紹介・人材アピールにより、
 将来の活躍の場を広げるしくみが必要
 → 継続的なDD学生の確保